

**「中国第3回スーパーオーステナイト系ステンレス鋼およびニッケル基合金国際シンポジウム」
におけるNAS355N発表の件**

当社は、2020年11月19日、20日に中国・北京で開催された「中国第3回スーパーオーステナイト系ステンレス鋼およびニッケル基合金国際シンポジウム」（中国ステンレス協会主催）において、昨年当社が開発した耐高塩化物・硫酸腐食兼用型ニッケル基合金NAS355Nに関する講演と論文発表を行いました。

1. 当社参加の背景

「中国スーパーオーステナイト系ステンレス鋼およびニッケル基合金国際シンポジウム」は、材料を供給する材料メーカーと材料を使用する需要家が国内外から一堂に会し、最新材料の開発や加工技術の進歩・改善について情報が共有される国際会議です（今回、参加約200名、論文発表19件、講演24件）。スーパーオーステナイト系ステンレス鋼やニッケル基合金は厳しい腐食、高温、高圧環境において広く使用される代表的なハイエンド合金です。中国製造業の発展、環境保護機器のバージョンアップ等に伴い、このようなハイエンドな材料の需要が高まっています。昨年新たに開発したNAS355Nは高濃度塩化物イオン環境または硫酸環境、あるいは両者が混在する極めて過酷な腐食環境においても耐食性を有する7.5Moニッケル基耐食合金であり、中国市場において高い需要が見込まれます。多くのユーザーや技術者に材料の優れた特性を知ってもらい、新たなビジネスチャンスにつなげていきたいと考えております。

2. 当社の発表内容

- 1) 講演発表：7.5Moスーパーオーステナイト系ステンレス鋼の特性
- 2) 論文発表：耐高塩化物・硫酸腐食兼用型7.5Moニッケル基合金NAS355Nの開発

何れもNAS355Nに関する発表ですが、1997年に開発したNAS354Nも7.5Moを含有する当社の特徴的な合金です。今回の発表においては合金設計思想と各種耐食性データについて主に報告しましたが、溶接部における金属組織の観察結果やその耐食性、また合金開発の歴史なども含む幅広い内容となりました。



【写真：会場前の展示場の様子】

【本件に関するお問い合わせ】 技術研究所（044-271-3361）

以上